

ほんとのであい

本との・・・本当の・・・出会い・・・本との・・・本当の・・・出会い・・・本との・・・



神代中・ふくにに (ペンネーム)

親のことが嫌いじゃないのに「なんかイヤだな」と思ったときに読む本

藤木美奈子／著 WAVE出版

146フ



親との日々の関わりで色々悩んだりすることは誰にもあるでしょう。この本は、そうしたときの対策として3つのステップを取り上げ、具体的な方法を示しています。親との関係で気になることがある時には、何かしら問題解決のヒントになるかもしれません。

あした、弁当を作る。

ひこ・田中／著 講談社

913ヒ



ぼくが玄関を出る時、いつも母は軽く背中に触れる。今日はゾクッと寒気がした。昼休み、いつもの母の手作り弁当なのに、おなかは膨れたけれど、気持ちの悪さは残った。この感覚は、成長期？ 反抗期？ 主人公の心の声に、一緒に悩んだり、腹が立ったり、喜んだりできるお話。

スマホアプリはなぜ無料？

10代からのマーケティング入門

松本健太郎／著 河出書房新社

675マ



「スマホのアプリはどうして無料？」
「1万円のコーラ、高い？ 安い？」
こんな身近な問いから、「世の中の仕組み」を解説します。知らない「大人にいいように丸め込まれて、損をして一生を過ごします。」だって?! 中学生でも消費者である以上、様々な知識が必要になります。さあ、マーケティングの世界へ飛び込もう!

起業家フェリックスは12歳

アンドリュー・ノリス／著 千葉茂樹／訳

あすなる書房

933ノ



フェリックスが、絵の得意な親友モーがデザインしたカードを作ると、売ってほしいという人が増えた。次第に経理や営業に関する人員が必要になり、テッドとエリーも仲間に入り、さらにルーファス叔父さんに経営コンサルタントを依頼する。単にお金を儲けるだけではない、良いビジネスとは…?

カラフル

阿部暁子／著 集英社

913ア



高校入学式の朝、駅での事件をきっかけに会った伊澄と車いすユーザーのりっか。高校では何も本気にならないと決めていた伊澄だが、いつも前を向き自分の力で困難に立ち向かおうとするりっかの姿に惹かれていく。これまでと違う視点を持ったことで、伊澄の日常が鮮やかかなものになっていく。

3年間ホケツだった僕が ドイツでサッカー指導者になった話

783ナ

中野吉之伴／著 理論社



「ホケツ」をどう思いますか？ 上手くなければ仕方がない？ サッカーが好きだけだと高校時代は補欠に終わった中野さんは、あるきっかけで、補欠が存在しないドイツの地域サッカーに魅せられ、指導者を志します。ドイツ語を学び、現地へ行って道を切り開き…「世界は自分で広げることができる」というメッセージが熱いです。

杉森くんを殺すには

長谷川まりる／作 くもん出版

913ハ



「杉森くんを殺すことにしたわたしは、とりあえずミトさんに報告の電話を入れた。」の冒頭に、まず引き込まれます。ミトさんって誰？ 殺すって本当に…？ 主人公は高1の女子ヒロ。杉森くんを殺す理由が順に挙げられるにつれ、ヒロの置かれている状況がだんだん明らかになってきます。ヒロの思いは、あなたの思いかもしれません。

変わる日本語、 それでも変わらない日本語

810シ

NHK調査でわかった日本語のいま

塩田雄大／著 世界文化社



「味あわせる」？ 「味わさせる」？ 「初老」は40歳から？ 「辛党」は辛いもの好き？ など、6つのトピックに分け、日本語の変化を考える本書。何気なく使うことばでも、年齢や地域によって異なってくる。その違いが一目でわかるグラフつき。あなたの使うことばと比べてみよう。

難民の？ がわかる本

木下理仁／著 太郎次郎社工ディタス

334キ

20XX年の「茶髪禁止法」をきっかけに、ボクたち家族は身の危険を感じて国外に脱出した…。こんな物語で始まる本書では、そもそも難民とは？ 世界にはどのくらい難民がいる？ 日本にも難民は来ている？ などかわかります。

※ 差別や迫害から逃れて日本に住む「クルド人」は約2000人。彼らの日本での暮らしについて書かれた『ぼくたちクルド人 日本で生まれても、住み続けられないのはなぜ？』（野村昌二／著 合同出版）もあわせて読むと、日本の難民政策の現状を知ることができます。



第四中・遥香（ペンネーム）

13歳から考えるハンセン病問題

差別のない社会をつくる

498ジ

江連恭弘 佐久間建／監修 かもがわ出版



あなたはハンセン病について、どのくらいのことを知っていますか？ 長い間患者たちの人権を奪い続けた「らい予防法」が廃止されたのは1996年、まだそんなに昔のことではないのです。差別や偏見のない社会へ、まずは知ること、考えることが大切なのではないでしょうか。

川滝少年のスケッチブック

913コ

小手鞠るい／作 川瀧喜正／画 講談社



祖父が子ども時代を振り返って綴った絵日記。愛媛県宇和島での暮らしや子どもの遊びを描いた漫画が楽しい。2冊目に描かれているのは「まじめな軍国少年」としての日々。戦争を生き抜いた祖父の実体験と平和への思いが係に語られる。作者の父が描いた実在のスケッチブックをもとにした物語。

日本全国お雑煮レシピ

596カ

地元に行って、作って、食べた
粕谷浩子／著 池田書店



あなたは、お正月にお雑煮を食べますか？どんな具でどんな味で、どんな形の餅が入っている？きっとそれぞれ親や先祖の出身地によって違い、話が盛り上がるでしょう。この本は、見ているだけでも美味しそうですが、お雑煮にまつわる歴史や物語まで知ることができて、読んで楽しめます。

この夏の星を見る

913ツ

辻村深月／著 KADOKAWA



いつもの生活が制限された2020年。天文部などで活動している中高生たちがオンライン会議でつながり、「スターキャッチコンテスト」を開催する。茨城、渋谷、五島列島・離れた場所で様々な状況のなか、同スペックの望遠鏡を作って準備を進め、同じ日時に星を観測する。違う場所でも空はひとつ！

西の果ての白馬

933モ

マイケル・モーパーゴ／作
ないとうふみこ／訳 徳間書店



イギリスの南西、コーンウォール半島のゼナー村。妖精と魔法の力が今も残る小さな村の風景や言い伝えとともに語られる、5つの不思議な物語。順番通りに読みすすめてほしいという作者の言葉に従い、「巨人のネックレス」から始まる物語の世界に入っていこう。



神代中・黒猫（ペンネーム）

無人島、研究と冒険、半分半分。402カ

川上和人／著 東京書籍



本州から遠く離れた絶海の孤島、人類が2度しか訪れたことのない南硫黄島。原生の生態系が維持されている理由を鳥類学者が探る。トイレや洋服・靴で外来種を持ち込まないように気を配ること、落石に注意しながら絶壁を登り島に上陸することなど、読みやすく面白おかしくまとめられているが、鳥類が好きなら研究ができないことも学べる。

雨にシュクラン

913コ

こまつあやこ／著 講談社



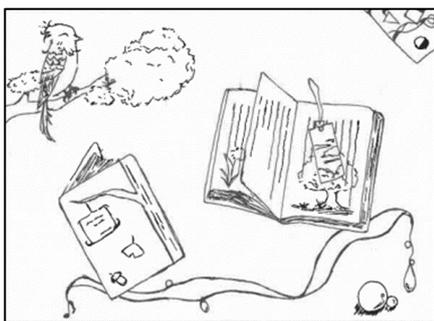
鼻血が出るほどの猛勉強の末、憧れの高校に合格した。しかし親の都合による引越して、登校が往復5時間になるとは。この学校に入りたいと思わせてくれた部活の先輩に「折り合いをつけることも大事だよ。」と言われ高校中退を決意。独学で高卒認定試験を受けることにし、空き時間に何をしようかと考えていたら…。

長く読みつかれてきた
古典や名作を紹介します。

おたから本

高瀬舟 森鷗外／著 新潮社、偕成社などから出版

913モ



神代中・ことり（ペンネーム）

高瀬舟は京都の高瀬川を上下する小舟。徳川時代に京の罪人が島流しになる際、罪人の親類一人を大阪まで同船させることを許す慣例があった。大目に見られたのは、心得違いのためにおもわぬ罪を犯した者が少なくなかったからだ。寛政の頃、同心の庄兵衛は喜助という罪人をただ一人乗せた。なぜか楽しそうに見える喜助は、命が助かったうえに二百文を支給されたことに感謝していた。そのあまりの無欲さに驚いた庄兵衛は、喜助の身の上と、犯した罪を尋ねたのだった。不遇といえる人生でも前を向く喜助の姿に考えさせられるものがある。短いからこそ、何度でも読んで考えたくなるお話。



『山椒大夫・高瀬舟』
新潮社（新潮文庫）

さみしい夜にはペンを持って

159コ

古賀史健／著 ポプラ社



ぼくはタコになんか生まれたくなかった。また顔が真っ赤になってみんなに笑われるのは、もうぜったいに無理だ。だから、バスがうみのなか中学校に着いても降りないで、終点の公園まで行った。そしてぼくは、ヤドカリのおじさんに教わったんだ。自分と対話する方法を、ひとりの夜の過ごし方を。

ぼくたちはまだ出逢っていない

913ヤ

八束澄子／著 ポプラ社

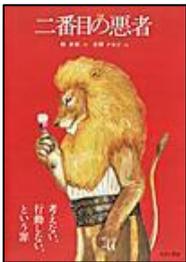


同級生からの暴力に苦しむ中3の陸は、山の麓で傷だらけになりながらすくと立っている漆の木々に出くわす。母の再婚で家に居場所がないと感じている美雨は、骨董屋の店先で「金継ぎ」をほどこされた茶碗に心を奪われる。二人は漆に導かれて出逢い、それぞれの世界が少しずつ開かれていく。

二番目の悪者

726シ

林 木林／作 庄野ナホコ／絵 小さい書房



嘘の噂話が次第に事実として考えられ、その結果、皆が不幸になるという絵本。自分で考え行動し、噂の真偽を確かめることの重要性や、その難しさについて考えさせられます。二番目の悪者とは一体誰のことでしょう？

ウクライナから来た少女

916イ

ズラータ、16歳の日記

ズラータ・イヴァシコワ／文・絵
世界文化社



ウクライナに住んでいたズラータは、日本のマンガやアニメだけでなく日本語に興味を持ち、自分で学んでいた。ロシアから攻撃を受け、母はズラータをなんとか日本に避難させるために行動する。苦勞の旅、同様に避難する人々や支援者との出会いなどを本人が日本語で書いた。

中学校の授業でネット中傷を考えた

指先ひとつで加害者にならないために

547ウ

宇多川はるか／著 講談社



他の中学校の授業に興味をもったことがありますか？ 私立開成中学校で行われた、ネット中傷を題材とした授業を、毎日新聞記者が密着取材して再現した本です。先生や生徒の発言を読むことを通じて様々に考えるきっかけになるでしょう。

女王さまのワードローブ

289エ

イギリス国民に愛された女王
エリザベス二世の物語

ジュリア・ゴールドディング／文
前沢明枝／訳 B L出版



イギリスのエリザベス女王は、2022年に亡くなるまで70年もの間、国王を務めました。その生涯を、美しいドレスやティアラとともにたどってみましょう。服や靴は、修繕して何年も大切に使いました。



調布中・さむ (ペンネーム)

※表紙の使用を許可して下さった各出版社の御厚意に感謝いたします。

ここでは23冊の本を紹介しています。これらの本は、調布市立中学校図書館にそろっています。□内は、学校図書館の分類記号です。本を探するときの目安になります。

イラストは市内の中学生の作品です。
ご協力ありがとうございました。

刊行物番号：2024-114
発行日：令和6年10月
発行：調布市教育委員会指導室
編集：学校司書（中学校）